

GradeMetrix1.8.3リリースのお知らせ

2025年6月16日GraedMetrix1.8.3をリリース致しました。

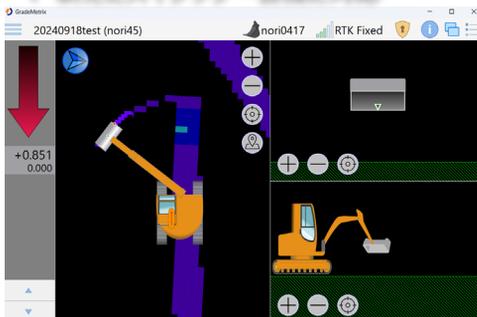
最新機能をご利用するにはインストーラー(.exe)を使用してバージョンアップを行ってください。

※バージョンアップの手順は、別途『GraedMetrix1.8.3バージョンアップ手順書』をご参照下さい。

« ver1.8.3の変更点 »

- ◆ 対応機種が追加され、**スイングブーム機**に対応しました。
- ◆ 機器設定で**“NoAntena”**を選択することで**2Dガイダンス**として利用が可能になりました。
- ◆ 法面バケットのような**バケット形状**の登録が出来るようになりました。
 - ▷ これに伴い、**施工履歴**はバケット刃先だけではなく、**底面全体**で更新されるようになります。
- ◆ ガイダンス画面に表示される**建機の表示色**が**変更**できるようになりました。
- ◆ ナビゲーション画面で、**目標点までの距離(dN,dE,dZ)**が**数値**で表示されるようになりました。
- ◆ **音声ガイダンス**の**範囲**を指定できるようになりました。
- ◆ 設定画面で**音声ガイダンス**の**ボリューム**が**調節**できるようになりました。
- ◆ 画面レイアウトごとに**ライトバー**及び**インジケーター**の**表示・非表示**が**指定**できるようになりました。

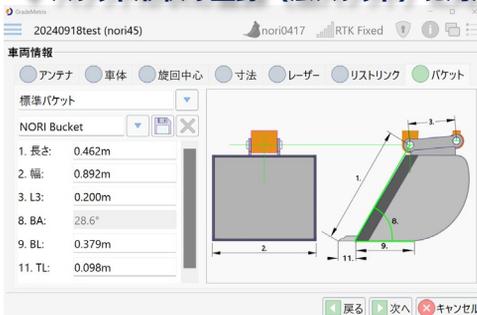
▼ 新たにスイングブーム機に対応



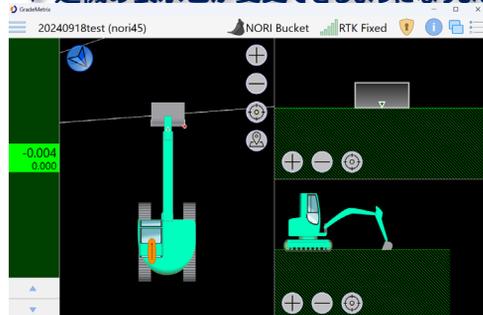
▼ アンテナ無しで2Dガイダンスとして利用が可能に



▼ バケット形状の登録（法バケット）に対応



▼ 建機の表示色を変更できるようになりました。



ver1.8.3の変更点について

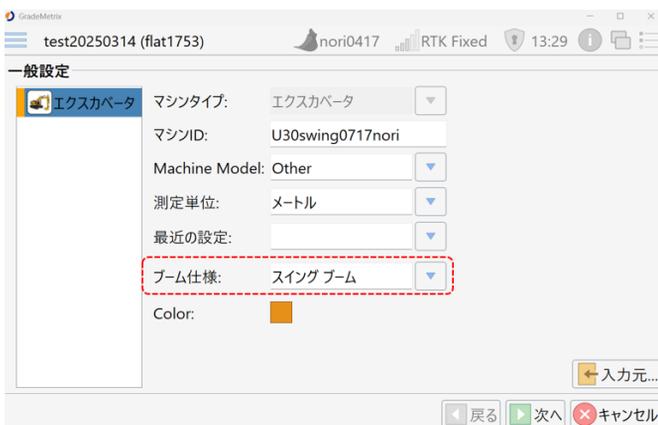
1. 対応機種が追加され、スイングブーム機に対応しました

GradeMetrixの対応機種が追加され、スイングブーム機に対応致しました。

機器設定メニューの“ブーム仕様”選択ボックスに於いてスイングブームを選択することで、スイングブームのマシンガイダンスとして動作するようになります。選択後、機器設定、2Dキャリブレーション、3Dキャリブレーションの各設定メニューには、スイングブーム固有の設定項目が表示されるようになります。

スイングブームを利用する場合、専用のエンコーダー及びエンコーダーブラケットを装着する必要があります。現在取付可能車種は、クボタU-30、クボタU-35、クボタA333になります。

▼ ブーム仕様でスイングブームの選択が可能に



▼ スイングブーム選択時の施工画面



ver1.8.3の変更点について

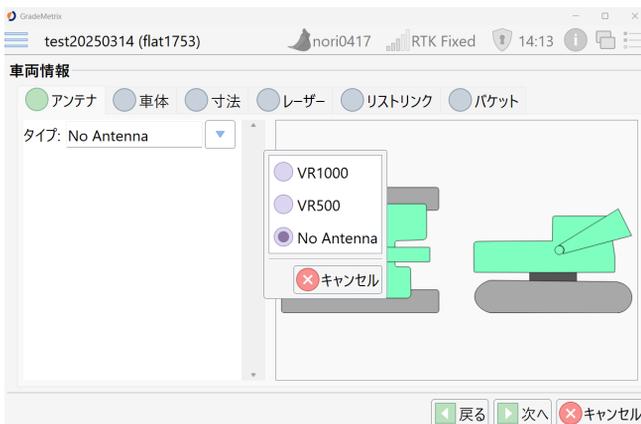
2. 2Dガイドスとしての運用も可能になりました

機器設定メニューでタイプ：“NoAntena”を選択することで、2Dガイドスとして利用が可能になりました。

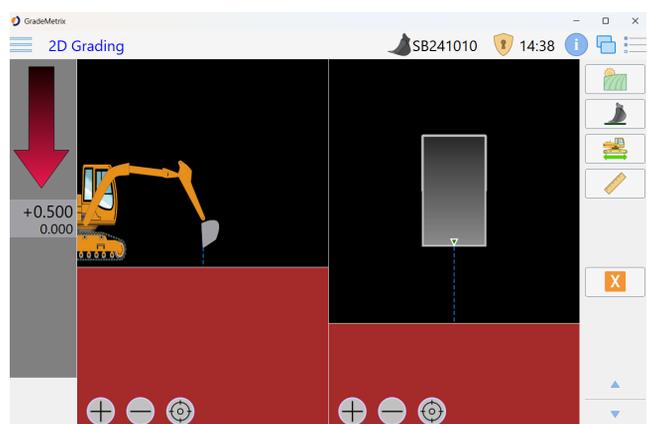
2Dガイドスモード利用中は、GNSSアンテナ(VR500,VR1000)が不要となります。位置情報が取得できなくなりますが、GNSS衛星の受信環境が悪い現場でも、モニタ上で簡易的な設計データを作成してガイドスを利用することができます。

機器設定メニューのタイプで“VR500”“VR1000”を選択し直すことで3Dモードに戻ることが出来ます。

▼ アンテナタイプでNo Antennaが選択可能に



▼ アンテナ無しで2Dガイドスとして利用可能

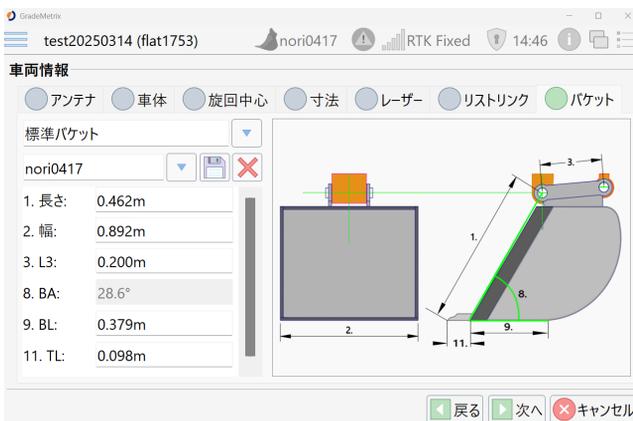


ver1.8.3の変更点について

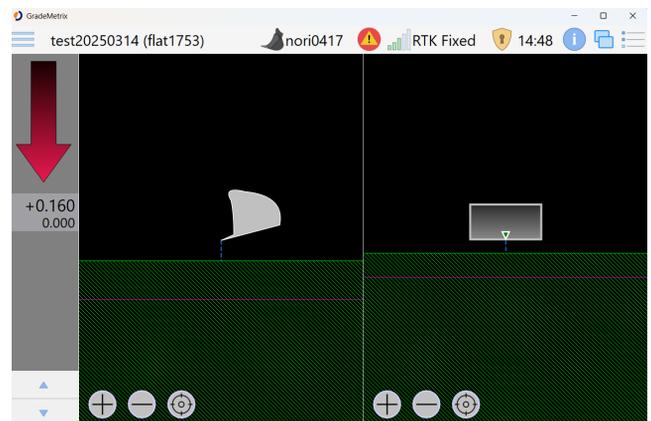
3. バケット形状の登録が出来るようになりました

法面バケットのような異形バケット形状の登録が出来るようになりました。
この機能の実装に伴い、ツースの摩耗時にバケット再キャリブレーションを行うことなく、“ツース長”を編集することで摩耗後のバケット形状を表現することが出来るようになります。

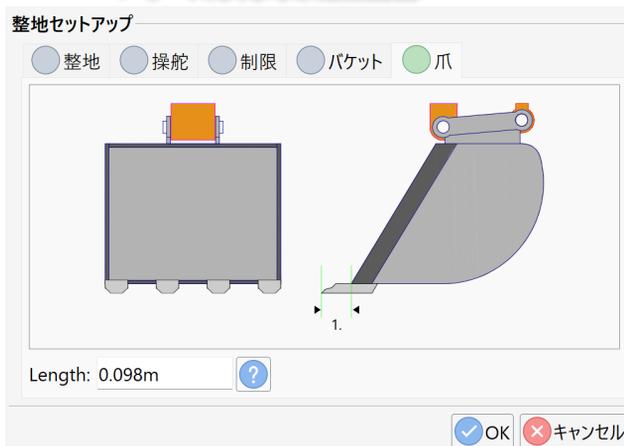
▼ バケット底面の幅と角度が入力可能に



▼ 法面バケット設定時の施工画面(例)



▼ ツース摩耗時の編集画面

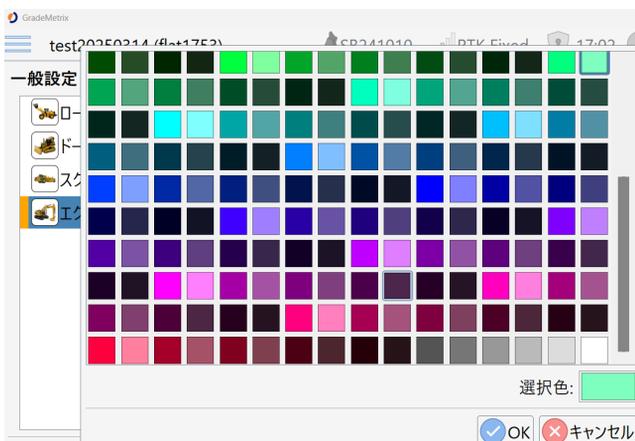


ver1.8.3の変更点について

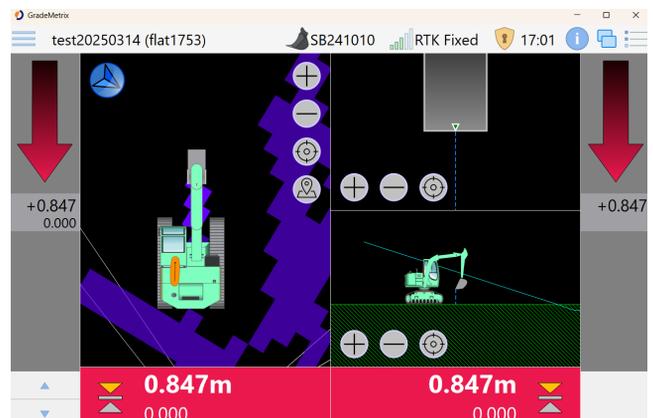
4. 建機の表示色を変更できるようになりました

ガイダンス画面に表示される建機の表示色を変更できるようになりました。機器設定メニューの“Color”設定をタップすることでカラーパレットが展開され、任意の表示色を指定することができます。

▼ カラーパレットから色を選択



▼ 建機の表示色が変更される

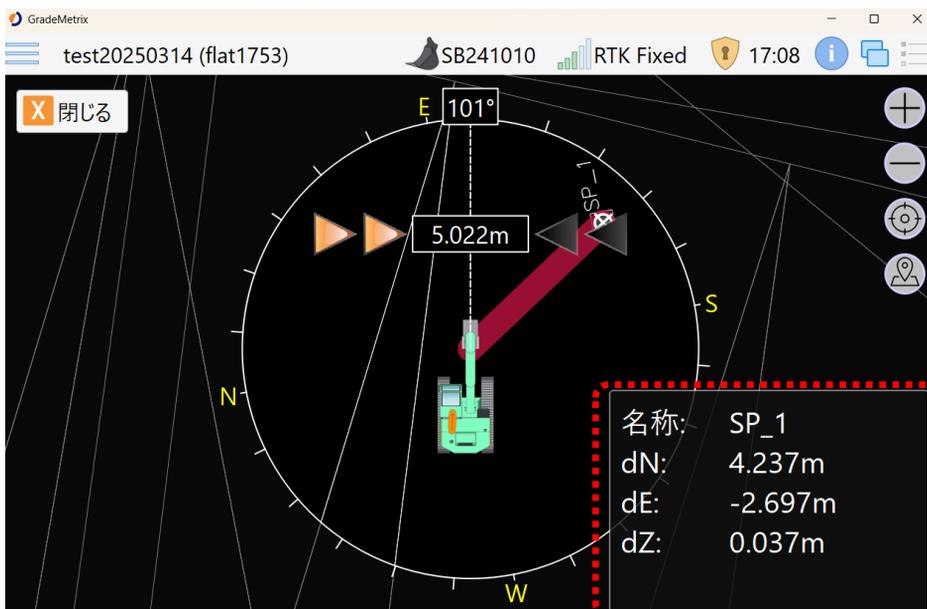


ver1.8.3の変更点について

5. 目標点までの距離が表示されるようになりました

ナビゲーション機能使用時に、画面上に目標点までの距離(dN,dE,dZ)が数値で表示されるようになりました。

▼ 目標点までの距離(dN,dE,dZ)を数値で表示



ver1.8.3の変更点について

6. 音声ガイダンスの範囲を指定できるようになりました。

インジケータ部分を長押しすることで展開される“整地セットアップ”ウィンドウの制限タブで、音声ガイダンスを鳴らす範囲を指定できるようになりました。

鉛直制限設定に於いて、以下の3つの範囲に対して、それぞれガイダンス音のON/OFFを切り替えることが出来ます。

- ・“鉛直制限”設定の**上限～上位バンド範囲**
- ・**オングレード範囲**(“鉛直制限”設定の**上位バンド～下位バンド**)
- ・“鉛直制限”設定の**下位バンド～下限範囲**

▼ 音声ガイダンスを鳴らす範囲を指定可能に

整地セットアップ

整地 操舵 制限 バケット 爪

鉛直制限

上限:	0.152m	<input type="checkbox"/> グレードの上部で警告音を有効にする
上位バンド:	0.030m	<input type="checkbox"/> オングレードで警告音を有効にする
下位バンド:	-0.030m	<input type="checkbox"/> グレードの下部で警告音を有効にする
下限:	-0.152m	

水平制限

密度: 0.152m

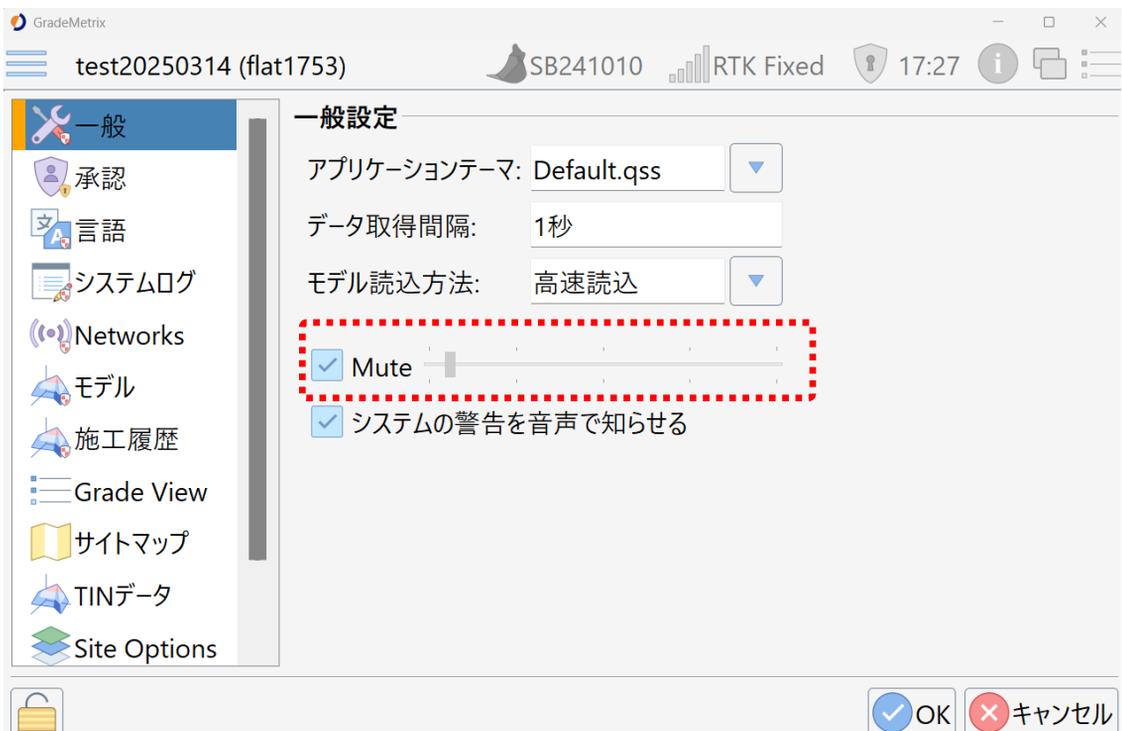
OK キャンセル

ver1.8.3の変更点について

7. 音声ガイダンスのボリュームが調節できるようになりました

設定メニューの“一般”項で、ガイダンス音などシステム音量のボリュームを調節できるようになりました。

▼ GradeMetrixソフト上で音量の調節が可能に

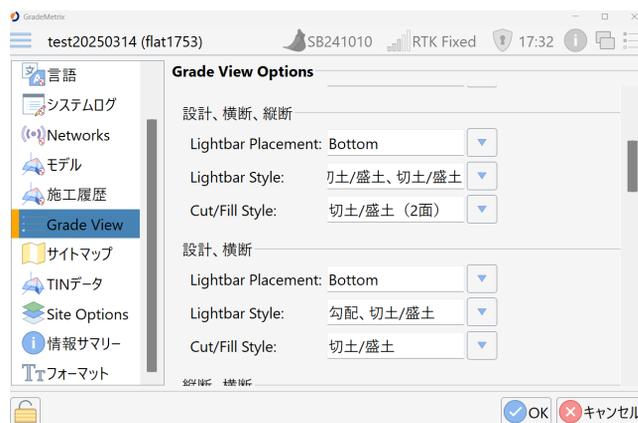


ver1.8.3の変更点について

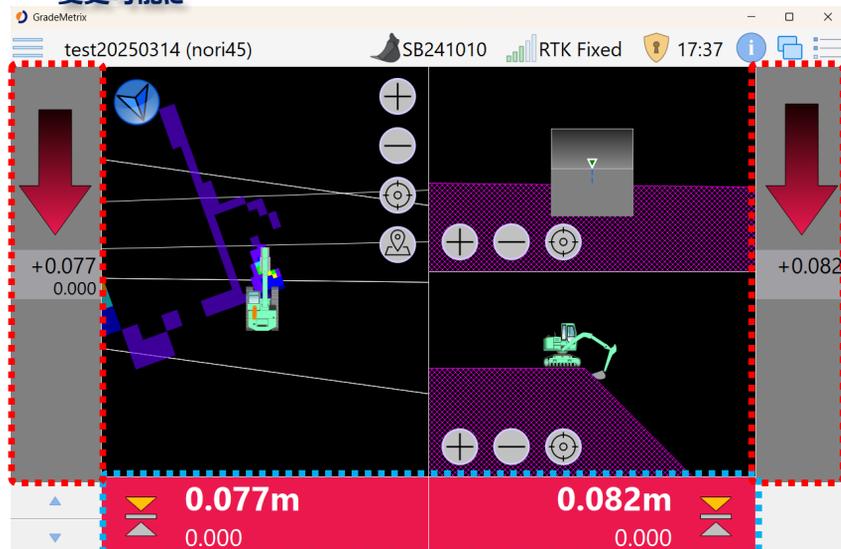
8. 画面レイアウトごとにライトバー及びインジケータの表示・非表示が指定できるようになりました

設定メニューの“Grade View”項で、画面レイアウト毎にライトバーやインジケータの表示・非表示や表示位置を指定出来るようになりました。

▼ Grade Viewメニューで表示スタイルを指定



▼ ライトバー(青枠)とCut/Fillインジケータ(赤枠)のレイアウトを変更可能に





お取り扱い店担当者様向け情報

Ver1.8.3変更点

ver1.8.3の変更点について

9. TeamViewerが標準でインストールされるようになりました

ver1.8.3からTeamViewerが標準でインストールされるようになりました。GradeMetricの画面から直接TeamViewerを起動できます。

GradeMetricの情報表示画面にTeamViewer起動ボタンが表示されるようになりました。ボタンをタップすると、最前面にTeamViewerのアクセスコード及びパスワードが表示されます。これらをオフィスなどに居るオペレーターに伝えることで、オペレーターはPC等からIronOneの画面にリモートアクセスすることができます。

※TeamViewerを商用目的でご利用になる場合は、別途TeamViewerの有償ライセンスのご契約が必要となる場合がございます。詳細はTeamViewerの公式サイト等でご確認ください。

▼ メニュー画面左上のアイコンを押す



▼ “GradeMetricについて”画面でTeamviewerボタンを押す



▼ アクセスコードとパスワードが表示される



ver1.8.3の変更点について

10. セキュリティ向上のため、ユーザーがWindows画面にアクセスしないよう仕様を変更しました(page1/2)

メニュー画面の電源ボタン>終了を選択することで、GradeMetrixを終了してWindowsの画面にアクセスすることが出来ていましたが、セキュリティ向上のため“終了”ボタンは廃止し、Windows画面にアクセスできないよう仕様を変更しました。

この仕様を適用するため“キオスクモード”を採用しました。キオスクモードとは、端末を特定の操作に制限し、不要な操作や設定変更を防ぐための機能です。これにより、利用者の方が誤って端末の設定を変更したり、他の操作にアクセスしてしまうリスクを軽減し、安全・スムーズにソフトウェアをご利用いただけるようになります。

▼ 終了(Windowsに戻る)を廃止



ver1.8.3の変更点について

10. セキュリティ向上のため、ユーザーがWindows画面にアクセスしないよう仕様を変更しました(page2/2)

電源を入れるとWindowsが起動し、1.8.3からは“Hemi”アカウントでログインします。Hemiアカウントでは、キオスクモードが有効となり、GradeMetrixのみの操作に制限されます。

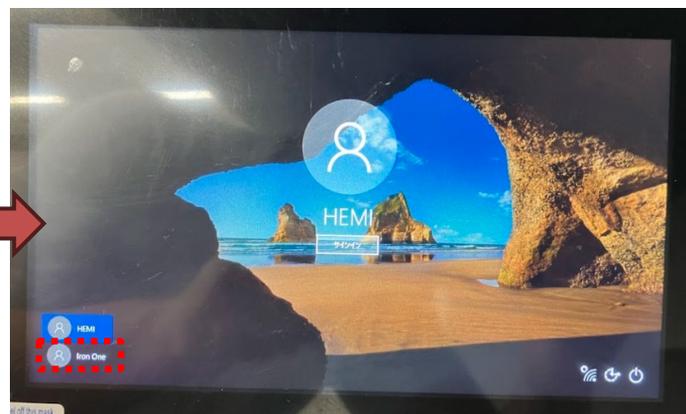
《Windowsの操作が必要な場合》

IronOneの電源ボタンを1秒程度押すと、約5~8秒後に「ピッ」という音がしてスリープモードに入ります。このときIronOne液晶画面はバックライトも消灯し真暗になります。

もう一度電源ボタンを押すと、Windowsのスタート画面が表示されます。画面を上をスワイプすると、ログアウト・アカウント選択画面（サインアウト画面）が表示されます。

▼ Windowsスタート画面を上をスワイプ

▼ ログアウト・アカウント選択画面が表示される。
IronOneアカウントを選択してサインインする。



この画面で“IronOne”アカウントに切り替えてサインインすると、通常のWindows画面が起動します。Windows上の操作（ファイルや設定のアクセス）が可能となります。

また、サインアウト画面から右下の  アイコンから、IronOneのシャットダウン・再起動も可能です。ソフトウェアトラブル時のリカバリーなどに利用できます。



Thank You

« お問い合わせ »

メールでのお問い合わせ

➤ info@hemitech.co.jp

Webお問い合わせフォーム

➤ <https://www.hemitech.co.jp/contact>